

剣道における礼法の重要性

Etiquette of Kendo

1K10C471-7 淀谷 瑞木
主査 寒川恒夫 先生 副査 矢野尊之 先生

【目的】

私は小学校2年時に剣道を始めてから、長い期間このスポーツを続けてきた。剣道は武士の時代から日本刀で行われていた剣術が時代の変遷によって形を変えながら現代に受け継がれてきたスポーツである。現在では竹刀を用いて相手の打突部位を打ち込み一本を奪い合うといった激しい攻防の見られる競技であり、その勝敗が一瞬のかけひきで決まってしまう点もたいへん魅力的である。剣道はこのような魅力のあるスポーツであるが、もっとも大きな特徴は礼法をたいへん重要視するという点である。他のスポーツと比較すると、行動の一つ一つに決まり事がある場合が多く感じられる。それは挨拶や礼の方法だけでなく立ち方、座り方などの軽く気にもとめない動作にも存在している。私も幼い頃から剣道の稽古場に行くと先生からうるさく礼儀作法を指導されたものだ。剣道は「礼に始まり、礼に終わる」とよく言われる。ではなぜ剣道というスポーツはこれほど礼法を重要視するのであろうか。その原因を剣道の礼法の歴史を振り返りながら考察し、まとめたいと考えたのでこの研究をすることにした。

【方法】

雑誌や書籍を中心に剣道と礼法の歴史を振り返り、自分が現在までに教わってきた剣道の礼法や自分の目で見してきた剣道の経験をもとに、剣道のさらなる発展のために考察を行った。

【結果】

剣道の礼法の歴史を振り返りつつ、現代剣道の礼法について考えることで、剣道の礼法が持つ意味がわかり、その重要性を理解することができた。その結果をもとに、現代剣道をさらに発展させるためにはどうすればよいかを礼法の面からまとめた。

【考察】

第一章 武家礼法の歴史

剣道の礼法は室町時代に完成された武家礼法をもとに時代の変遷によりその形を変え現代のものに至っている。第一章では現代剣道の礼法のもととなっている武家礼法の歴史を振り返ることで礼法の発生やその持つ意味を

まとめた。

第二章 禅の思想と剣道の礼儀作法

武家礼法の歴史を振り返ることで、剣道の礼法には禅の思想が大きな影響を与えていることがわかった。また、禅の思想は現代剣道を形作るもととなっている一刀流剣術にも影響を与えていた。第二章ではその禅の思想の歴史を振り返りながら、禅の思想とはどのようなものであるのかということを考察し、剣道の礼法にどのような影響をあたえたのかをまとめた。

第三章 現代剣道における礼法

現代剣道には様々な礼法が存在している。幼い頃はなんとなく形だけ行っていた礼法にもそれをするべき理由があり、それは剣道というスポーツをする上で欠かせないものであった。第三章では現代剣道における様々な礼法を取り上げ、詳しく解説しながら、そのそれぞれの礼法が持つ真意を考察した。

第四章 剣道の礼法の重要性と今後についての考察

第一章から第三章にかけて、礼法の歴史を振り返りながら現代剣道の礼法を再度考察することで、剣道というスポーツがなぜ礼法を重要視するのかがわかった。しかしながら、現代剣道はスポーツであるため、必ず試合には勝敗が付きまとうことになる。そこから勝ち負けにこだわるようになることで、本来剣道というスポーツが重要視してきた礼法がおろそかになってきている傾向にある。剣道は現代になって日本だけではなく世界的にも広がっていき、特に世界大会では他国の礼法の乱れがたいへん目立つことがある。日本と他国の礼法への認識の違いがあるのか現在ではこのことは全日本剣道連盟でも剣道界今後の大きな課題として意識されている。第四章ではこれまでまとめてきたことをもとに、礼法に関する現代剣道の課題をまとめ、今後の剣道のさらなる発展のために剣道と礼法の関係性について考察する。